

笠松町地域公共交通会議 議事概要

日時	令和5年1月17日（火） 13:30～14:30
場所	笠松町役場 4階大会議室
出席の委員	古田会長 山田(健)委員 宮部委員 坂口委員(委任者) 森委員(委任者) 山田(忠)委員 松原委員 田島(正)委員 家田委員 富田委員 棚橋委員 高橋委員 畠平委員 酒井委員(委任者) 川部委員 田島(茂)委員 堀委員 (以上17名)
欠席の委員	正村委員
議事概要	

① 町長あいさつ

書面決議も含めると本年度は3回目の公共交通会議となる。
今回開催の理由は2点、チョイソコカラタン実証実験の継続と町の公共交通計画を4月1日付で策定することの承認を得たいということ。
チョイソコカラタンにおいては運営母体、乗換区分等に変更があり大きな転換点である。転換点だからこそ、委員の忌憚のないご意見を賜りたい。

② 議事

【第1号議案】

乗合送迎サービス「チョイソコカラタン」実証実験継続について

○ [資料1] にて、以下の内容について 説明

株式会社トヨタオートモビルクリエイティブが実施主体となり、実証実験を2年間行い、各停留所における需要や利便性、既存の公共交通に与える影響等の検証を行った。
その結果受け、持続可能な運営方法を検討し、近隣との広域連携を見据え、実施主体を株式会社アイシンに移管し、実証実験を1年継続する方針とした。
町としても交通空白地帯の解消にはチョイソコカラタンの運行が必要であり、実証実験の継続に協力することとした。
資料下部赤字については、実施主体が移管することによる変更点である。



○ [資料2] にて、株式会社アイシンより以下の内容について説明。

実施主体が株式会社アイシンに移管することによる変更点についての説明。

- ・運行台数の削減（2台から1台）
- ・エリア分けの変更（岐阜と笠松のエリアから東・西・中エリア）
- ・岐阜エリアでの停留所見直し

【質問・意見】

- チョイソコカラタンの台数が2台から1台になることで不便にはならないか
→現状の利用状況からみると1台でも十分に対応できる。2台から1台になることにより現在行っている松波総合病院での乗換がなくなり利便性は向上すると思われる。例として松枝地区の方がカラフルタウンに行こうとすると一度北上して乗換地点に行かなければならなかったが、3月からは直接向かえる。また、今後利用者が増え混みあった場合2台体制に戻すこともできるが、その際はこの会議にて諮ることとする。
- コロナの影響によりコロナ前より利用者が少ないことから、よい実験結果は得られないと思われるが、未だサービスを知らない人が多い、もっと大々的にPRを行うべきである。
- ターゲット層は高齢者だと思うが、スマホでの会員登録、予約は困難だと思う。
→会員登録は紙による郵送で、予約も電話でできる。今後はもっとそのことを周知する。

- 無人運転などの予定はないか
→法整備、環境整備、車両等機器の整備がまだ追い付いていない状況。ただ、行うとしたらカラフルタウンなど施設の敷地内から開始すると思われる。
- 笠松町民の利用はどの停留所で多いのか
→資料1下部に明記
- 再来年度の本格運行に向けて近隣市町の先駆けとなるような事業の実施をお願いします。

【採決】

第1号議案…出席委員の全会一致にて原案のとおり可決。
協議が調ったものとして、運行事業者を通して岐阜運輸支局へ実証実験の継続の申請を行う。

【第2号議案】

笠松町地域公共交通計画の策定について

- [資料3]にて、笠松町地域公共交通計画（案）の主に修正点について説明。

【質問・意見】

- チョイソコカラタンに関して、2台から1台の体制になり住民にはマイナスイメージを与えられると思われる。なので、1台になり更に便利になったとPRするべきだ。

【採決】

第2号議案…出席委員の全会一致にて原案のとおり可決。
協議が調ったものとして、令和5年4月1日付にて計画を策定する。
また、計画策定について住民、公共交通事業者に周知を行う。

③その他

笠松町公共施設巡回町民バス「旧こども館前」バス停の移設及び名称変更について

- [資料4]にて「旧こども館前」バス停付近に横断歩道を設置する計画があり、設置の際はバス停を5m東へ移設することを説明。また、令和5年4月1日に「旧こども館前」バス停の名称を「松波総合病院南館前」に変更。
- 令和5年4月1日から導入する、町民バスの定期券、障がい者使用料免除の対象拡充、令和5年3月末まで実施中の高齢者外出支援について説明。
- 令和5年4月1日から町民バスにロケーションシステム、乗降者カウントセンサーの設置を行うことを説明。